

ホンモロコ天然卵からの親魚養成とその採卵

根本守仁・岡本晴夫・藤岡康弘・米田一紀・大植伸之・大澤宏史

1. 目的

県では、近年著しく激減したホンモロコ資源の回復を目的に、平成18年度から大量種苗生産放流が実施されている。

水産試験場では、天然卵からの親魚養成(F0)と(公財)滋賀県水産振興協会が実施する大量種苗生産用親魚(F1)にするために必要な卵の供給を実施した。

2. 方法

1) 親魚養成

①天然卵の採集

平成29年4月28日から6月12日に、大津市小野地先および長浜市延勝寺地先の琵琶湖、西の湖、伊庭内湖、西の湖に流入する山本川で、柳の根や藻等に付着したホンモロコ卵を採集した。

②飼育管理

採集した卵から得られたふ化仔魚を、30L水槽に、1水槽あたり約2,000尾となるように計数して収容した。収容後は主にツボワムシを給餌した。30L水槽での飼育期間は約2週間とした。

その後は、40㎡の屋外池に放養して飼育した。放養から2週間はワムシおよびアルテミア、それ以降は配合飼料を給餌した。

2) 経年魚からの採卵

平成26～28年度に生産した親魚から採卵を行った。採卵は、4月18～22日に実施した。方法は、自然産卵による採卵とし、水面に浮かべた人工基体に産卵したものを回収した。

3. 結果

1) 親魚養成

①天然卵の採集

卵の採集は、期間中に5回行った。合計24,800尾のふ化仔魚を得た。なお最も多かつ

たのは6月12日に山本川で採卵したものであり、全体の63.4%を占めた。

②養成

育成期間中は、特にトラブル等がなく、順調に育成することができた。

平成29年11月時点での年齢別の親魚量を表1に示した。0～2歳魚をすべて合計すると、29,340尾、206.8kgとなった。

表1 年齢別のホンモロコ親魚生産結果

年齢	池数(面)	尾数(尾)	重量(kg)
0歳	3	19,183	86.2
1歳	2	6,020	63.1
2歳	2	4,136	57.6
合計	7	29,340	206.8

2) 経年魚からの採卵

採卵結果を表2に示した。合計2,746,000粒の卵を得て、これらはすべて(公財)滋賀県水産振興協会へ提供した。

なお、親魚1kgあたりの採卵量は、最小で10,909粒/kg、最大で39,434粒/kgと大きくばらつきがあり、今後、採卵の効率化を図る必要があると考えられた。

表2 ホンモロコ採卵結果

池番号	親魚		採卵数(粒)	親魚1kgあたりの採卵量(粒/kg)	
	年齢	尾数(尾)			重量(kg)
7A-3	1	3,678	19.23	252,000	13,102
7A-4	2	3,537	31.09	660,000	21,229
7A-6	3	2,772	31.35	342,000	10,909
7A-7	1	3,718	19.15	755,000	39,434
7A-8	3	2,769	31.40	737,000	23,471
		22,548	195.21	2,746,000	19,732